

実習内容
ならびに
スケジュール

社会医学 予防医学部門

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション	久保田	10:00	教育研究棟11階 ミーティングルーム11-2
火	保健所実習	西宮市保健所	9:00	西宮市保健所
水				
木				
金	生活習慣病・母子保健演習及び総括	丸茂・江川	13:00	教育研究棟11階 ミーティングルーム11-2

◎ 診療科名： 社会医学 予防医学部門

◎ 責任者氏名： 丸茂 幹雄 主任教授

◎ 指導教員氏名： 久保田 芳美 講師

江川 可純 助教

◎ 実習概要

西宮市保健所における実習、生活習慣病・母子保健に関する演習などを行い、医師として地域社会において保健医療活動を実践する際に求められる広い視野と総合的判断力及び問題解決能力を身につけるために必要な知識、技能、態度を習得する。

◎ 各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

（1）保健所実習

- ・ 医療・保健・福祉・介護の総合施策における医師の立場を説明できる。
- ・ 保健所の業務について説明できる。
- ・ 医師と保健所の関わりを説明できる。
- ・ 医師が保健所に届け出る書類を正確に作成できる。
- ・ 地域社会における保健活動と医師の役割について説明できる。
- ・ 地域医療や地域の医療機関との連携の重要性を概説できる。

（2）生活習慣病・母子保健

- ・ 生活習慣病の一次予防の意義を説明できる。
- ・ 職業に起因する障害と対策が説明できる。
- ・ 母子保健に関連する統計項目を説明できる。
- ・ 法令に基づく健康診断について説明できる。
- ・ 疫学的研究方法について説明できる。
- ・ 予防医学や健康診断の重要性を説明できる。
- ・ 行動変容をきたすコミュニケーションの基本を行える。

◎ 準備学習ならびに事後学習に要する時間

- ・ 4年次の講義資料をよく復習しておくこと（2時間程度）
- ・ 事前配付の保健所実習テキストをダウンロードして熟読する事（3時間程度）

◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーション、EBM（文献に基づいた考察）について評価。

評価基準をループリックで明示。

【知識】

点数	基準
5	実習で得られた知識に対して、深い造詣と理解を示すことができる。
4	実習で得られた知識に対して、疑問点を持ち解決できる。
3	実習に関連する知識について理解し説明できる。
2	実習に関連する知識を有している。
1	実習に関連する知識を有していない。

【態度（積極性）】

点数	基準
5	実習に主体的に関わることができる。
4	積極的に質問・発言ができる。
3	実習に意欲的に参加する。
2	言われたことだけをこなす。
1	質問に答えない、発言しない。無断で欠席・遅刻・早退する。

【コミュニケーション】

点数	基準
5	保健所等の職員や地域住民と良好な信頼関係を築くことができ、信頼されている。
4	保健所等の職員や地域住民と積極的に交流できる。
3	保健所等の職員や地域住民と適切に交流できる。
2	保健所等の職員や地域住民との交流がやや消極的である。
1	保健所等の職員や地域住民とうまく交流することができない。

【EBM（文献に基づいた考察）】

点数	基準
5	文献に基づいた考察から課題に対する解決策を立案できる。
4	文献に基づいた考察から課題を発見できる。
3	文献に基づいた考察ができる。
2	文献に基づいた考察ができていない。
1	適切な文献を参照できていない。

◎ 中間評価とフィードバック

実施しない。

◎ 注意事項

- 初日は 10 時 00 分に教育研究棟 11 階ミーティングルーム 11-2 に集合すること。
- 保健所では職員の指示に従うこと。また、地域住民と接することを常に念頭に置き、兵庫医科大学の学生として相応しい身だしなみ、言動をとるように留意すること。
- 実習期間中は必ず名札を着用すること。白衣は不要だが、実習に相応しい服装を着用すること（シャツ・ポロシャツ等の襟付きの上衣を着用。T シャツ、半ズボン、ハイヒール、ブーツ等は不可）。
- 保健所へは現地集合、現地解散を原則とする。自動車の使用は禁止する。必ず電車、バスなどの公共交通機関を利用すること。
- 無断で欠席、遅刻、早退は絶対にしないこと。やむを得ない理由がある場合は、その旨を社会医学予防医学部門及び当該施設（西宮保健所 保健総務課総務チーム）に必ず届け出ること（連絡先は初日に伝達する）。
- 新型コロナウイルス感染状況により実習内容を変更する場合がある。その場合は該当するグループに連絡するので、注意すること。